



未使用品などが福祉のために
第29回福祉バザー
11月23日(月)

福祉バザーは、家庭にある未使用の品物や農作物を皆さんから提供していただき、売上金の一部を福祉事業に還元するものです。今回も約3,200点の善意が集まり、当日は30万4,060円を売り上げました。売り上げの一部は、昨年の栃木県・茨城県台風18号等災害義援金として送られました。



生活を見なおして地球温暖化防止
地球温暖化防止ポスター・標語コンクール表彰式
12月5日(土)

このコンクールは、世界的な課題である地球温暖化問題の啓発を図るために毎年開催され、本年度は市内小中学校の児童・生徒、一般(高校生以上)から540点の応募がありました。その中から小学生低学年・高学年、中学生、一般の各部門別に、市長・議長・教育長の各賞が贈られ、総勢22人が表彰されました。



郷土芸能の継承
第3回沼田市文化遺産の祭典
12月5日(土)

文化振興とともに地域活性化を目的として、第3回沼田市文化遺産の祭典が上之町会館で行われ、市指定重要民俗文化財の沼須人形芝居、沼田祇園囃子、平出歌舞伎(こども歌舞伎)の3団体が一堂に会しました。各団体とも、受け継がれた郷土芸能を大切に演じ、来場者からは大きな拍手がありました。



20年・未来につなぐ仲間のたすき
ボランティアフェスタぬまた・ごったくまつり
12月6日(日)

「20年・未来につなぐ仲間のたすき」をテーマにボランティアフェスタぬまた・ごったくまつりが開催されました。1階のステージでは、尾瀬高校吹奏楽部をはじめ、さまざまなグループの演奏や踊りが披露されたほか、1階から4階では、フリーマーケットや展示、20回の歴史を写真で紹介するコーナーなどが設けられました。

市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

YOROZU
よろずとーく 104
TALK

第11回全国高校生・高等専修学校生
「私のしごと」作文コンクール
job大賞
大津 泰智さん
(利根実業高校生物生産科3年)
Taiti Otsu

「中学校から始めた剣道の経験が農業に対する考え方にもつながっています。自分の気持ちを素直に作文に表現しました」
そう話すのは、「私の仕事」作文コンクールに「攻めなければ絶対に勝てない！」を応募し、最高賞に次ぐ「job大賞」を受賞した大津くん。この作文コンクールは、高校生らに職業や仕事について考えてもらおうと、NPO法人「仕事への架け橋」が実施し、今回は全国から3214点の作品が集まった。作文には「守ってはダメだ。攻めなければ絶対に勝てない！」といった言葉が登場する。中学校時代、剣道の指導を受けた恩師



酵素液を作る
大津くん

「最初の目標は、イチゴの群馬県評会で優勝すること。その後は、海外に向けて攻めの農業を展開したいですね。攻めなければ絶対に勝てない！」この言葉を胸に刻んで勝負します」
「イチゴは成長部門といわれませんが、今後は外国から安価なものも大量に輸入されます。高価であっても安全性と食味で対抗するしか勝ち目がありません」
高校では、酵素液を使ったイチゴ栽培や堆肥作りの研究をしていると話す。

「攻めなければ絶対に勝てない！」
この言葉を胸に刻んで勝負します



からの言葉だ。今でも響くこの言葉が、高校生活や農業の考え方に影響を与えたという。
「農業を意識したのは小学校6年の頃。給食で出た自宅のナスを同級生が残さずおいしそうに食べたのを見て、食べ物で人を幸せにしたいと思うようになった」
実業高校に進学したのも家業のイチゴ園を継ぐためだった。
「イチゴは成長部門といわれませんが、今後は外国から安価なものも大量に輸入されます。高価であっても安全性と食味で対抗するしか勝ち目がありません」
高校では、酵素液を使ったイチゴ栽培や堆肥作りの研究をしていると話す。

消防団員紹介 No.8

地域の守り手として活躍する消防団員の皆さんをご紹介します。

市消防団では多くの入団希望者を募集しています。
問い合わせ 市消防団本部(防災対策課消防係内)☎内線3363へ

沼田市消防団 第7分団ラッパ隊(利根町地区) ラッパ隊副ラッパ長 青木弘二さん

7分団のラッパ手は、2カ月に一度、ラッパ吹奏訓練を行ったり、相互の懇親を深めるための親睦会を実施しています。今まで一度もラッパを吹いたことのない人もいましたが、お互いに楽しみながら集まることで、少しずつ吹けるようになってきています。楽器が好きな人も、そうでない人も、ラッパを通じて仲間と一緒に楽しめる場所の一つになっています。
みんな、仕事や家庭を持っているので、なかなか全員集まれません。「誰かがやらなければならない」という意識を持って、活動を続けていきたいと思っています。



ぬまたフオイトせんぽ